



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより

令和4年1月31日 No.24

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、
たくましく生きる児童・生徒の育成

- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子
- ・ふるさと大好き神内っ子



第15回『清明賞』授与式

神内小学校の玄関に、小学校と神島の風景が描かれた、『瀬戸の秋』という大きな絵が飾られています。その『瀬戸の秋』という絵画は、神内小学校を卒業され、洋画家として活躍されている池田清明先生が描かれたもので、2007年に寄贈して下さったものです。子どもたちが登校した時も、下校するときも、運動場に出たり入ったりするときも、ずっと子どもたちを見守っています。



『清明賞』は、その池田清明先生が、神内小学校の子どもたちが絵を描くのが好きになってほしい、豊かな心に育ってほしいという思いから、翌年より毎年、図画工作ですぐれた作品を制作した児童を表彰して下さっているものです。今回で15回目となり、1月17日(月)に、各学年1名ずつ授与されました。受賞した作品には、池田清明先生から講評もいただきました。

そして、今回は、新たに『少女とヤシの実』という絵を寄贈していただきました。とても素敵な絵画です。神内小学校の子どもたちは、絵を描くことがとても好きで、教室やワークスペース、階段の踊り場の掲示板には子どもたちが描いた絵をたくさん掲示しています。『清明賞』をもらいたいと思っている児童もいて、先生の思いが息づいています。

池田清明先生は、今回の授賞式に出席するための準備をしてくださっていて、とても楽しみにしておられました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症拡大のため出席されませんでした。制作の様子の動画やメッセージ、参加賞を届けてくださいました。神内小学校の子どもたちには、温かいまなざしを向けて応援してくださっている池田清明先生の思いを感じて生活して欲しいと思います。池田清明先生には、本当に感謝したいと思います。

授賞式には、来賓として宇根山神島公民館長さんに列席していただきました。授賞式の様子は、笠岡放送で報道され、1月22日の山陽新聞にも掲載されました。受賞作品と講評は、神内小学校のHPにUPしています。



『少女とヤシの実』の設置には、お二人の方にお世話になりました。

お一人は、池田清明先生のお弟子さんで、浅口市在住の洋画家の方です。絵の額装と、設置する位置を決めるために来校して準備をしてくださいました。もうお一人は保護者の方で、取り付けの準備を何回もしてくださり、「大きな音が出るから」と言われて、お仕事前の朝早い時間に設置してくださいました。

風景画に人物画が加わり、さらに優しさや温かみを感じられるようになりました。玄関がギャラリーになっています。来校されたときには、是非、ゆっくり鑑賞してください。子どもたちも教職員も、そして絵画も大切な学校の財産です。